

東京電力ホールディングス株式会社柏崎刈羽原子力発電所の 現地調査の結果

令和5年12月13日
原子力規制庁

1. 趣旨

本議題は、東京電力ホールディングス株式会社柏崎刈羽原子力発電所での現地調査の結果について報告し、委員間で討議いただくものである。

2. 現地調査の概要

日時：令和5年12月11日（月）8：45～15：30

調査内容：

- ① CAP会合及びPP-CAP会合の観察
各部署の部長やGM、原子炉主任技術者等が参加するCAP会議で、新規3件のコンディションレポート（CR）や他事業所事案の水平展開についての議論の様子を観察した。
また、核物質防護管理者や原子炉主任技術者、セキュリティ管理部及び安全統括部の管理職等が参加するPP-CAP会議で、不適合4件のCRについての議論の様子を観察した。
- ② 防護本部及び出入管理所の観察
防護本部では警報が発報した際の見張人による実際の状況確認や見張人同士の情報共有の様子を観察した。また、出入管理所では確認作業の環境改善の状況を確認したほか、見張人による人定確認や手荷物検査の様子を観察した。
- ③ 協力会社との意見交換
警備業務に関わる協力会社（3社）の実務担当者それぞれと対話し、東京電力の改善措置が現場の警備業務にどのように影響しているかなどの意見交換を行った。
- ④ 核物質防護モニタリング室との意見交換
室長ほか同室員と対話し、同室の活動に対する現状認識と課題、今後の取組等について意見交換を行った。
- ⑤ 発電所長、核物質防護管理者等との意見交換
発電所長以下東京電力の社員7名と対話し、これまでの改善措置活動の総括やセーフティ側との教訓の共有も踏まえた今後の取組について意見交換を行った。